

生活科学系コンソーシアム第6回総会 議事録

日時：平成25年5月21日（水） 15：30～17：30

場所：日本学術会議 5階 5-A 会議室 (1)

出席者：

コンソーシアム構成学会より会長、連絡担当者計6名

国際服飾学会 佐々井啓

日本栄養・食糧学会 鈴木恵美子

日本家政学会 牛腸ヒロミ

日本家庭科教育学会 渡邊彩子

日本消費者教育学会 天野晴子

日本衣服学会 阿部栄子 (敬称略)

日本学術会議 健康・生活科学委員会 家政学分科会委員6名

渋川祥子、小川宣子、塚原典子、多屋淑子

工藤由貴子、沖田富美子

(敬称略)

資料：添付資料 資料1 生活科学系コンソーシアム 名簿 (2013.5.20 現在)

資料2 生活科学系コンソーシアム第10回議事録 案

資料3 生活科学系コンソーシアム 平成24年度活動報告

資料4 平成24年度 収支決算報告及び監査報告

資料5 平成25年度 収支予算 (案)

資料6 平成23年度 収支決算報告及び監査報告 (修正版)

資料7 共催、後援に関する申し合わせ

資料8 生活科学系コンソーシアム参加学会 会費口数

資料9 平成25年度行事予定表 (構成学会主催)

議事内容

1. 生活科学系コンソーシアム第11回議事録 (案) の承認 (沖田委員)
2. 24年度活動報告について (小川委員)
資料3をもとに、活動の報告がなされた
3. 平成24年度収支決算報告及び監査報告について (多屋・渋川委員)
資料4をもとに、平成24年度収支決算及び監査報告がなされ承認された。
4. 平成25年度活動計画について (小川委員)
・博士課程論文発表会の実施
日程は2014年3月19日 (水) 会場は日本女子大学を予定
博士取得時期を2年前にさかのぼり、発表対象者として募集する

運営委員は多屋委員を中心に日本食生活学会、服飾文化学会の構成員にお願いする。

発表募集締切り日、座長等についての運営内容は運営委員で検討し、メール会議で承認を得る

・生活科学系コンソーシアムの会議の実施

今後、活動などについて早急に検討する必要がある場合には、家政学分科会委員会と同じ日程で実施しない場合もある。

・シンポジウムの開催

昨年度実施したシンポジウム（東日本大震災に対する活動）の PART2 を実施したらという意見もあったが、学習指導要領の改変時期であることを受け、日本家庭科教育学会が実施しつつある調査研究等の動きと連携して家庭科教育に関するシンポジウムを開催する方向ですすめることとした。実施にあたり小川会長が一員として家庭科教育学会とシンポジウムの内容について検討を行う。

5. 平成 25 年度収予算（案）について （多屋委員）

平成 25 年度活動計画の討議決定内容を踏まえ、資料 5 をもとに平成 25 年度予算を承認した。

6. その他

1) 平成 23 年度収支決算報告及び監査報告の修正 （塚原委員）

一部記載ミスによる修正案（資料 6）の説明と承認

確認事項

1) 生活科学系コンソーシアム共催・後援に関する申し合わせの改正 （塚原委員）

（資料 7）

2) 平成 25 年度会費口数の確認依頼 （多屋委員）

（資料 8）

3) 各学会平成 25 年度行事予定及び各学会長、連絡担当者、連絡先の確認依頼 修正のある場合は都築委員に連絡する （資料 9）

（小川委員）

4) 日本学術会議分科会からの報告 （渋谷委員）

家政学分野の参照基準検討分科会のその後の経過と審査結果についての報告がなされた。2013 年 5 月 15 日審査終了し、表出された。冊子の印刷・配布が予定されている。

家政学分科会は、今後 家政学分野の参照基準を受けて家政学をさらに普及するために、家庭科教育の現状を全国的に調査することにより把握し、提言する活動を実施する。

以上